



2009年4月1日発行

飯田市歴史研究所 〒395-0002 長野県飯田市上郷飯沼3145 電話 0265-53-4670



2009 上半期 飯田アカデミア

歴史学を中心とした専門研究者が、広い視野から、興味深い研究の最新線を分かりやすくお話しします。ぜひご聴講ください。

第49講座 講師: 小谷 汪之さん (東京都立大学名誉教授/インド中世・近代史)



場所: 飯田市上郷考古博物館 1階会議室
5月9日(土) 13:30~17:00
人と土地の関係史
土地が排他的・絶対的支配権としての私的所有の対象となってきたのは、明治初年の地租改正を通してである。

第50講座 講師: 千々和 到さん (國學院大学教授/日本中世史)
5月30日(土) 13:30~17:00
中世の人々の祈りの風景
中世の人々の願いは、一言で言うとするれば「現世安穩、後生善処」ということであろうか。

第51講座 講師: 佐藤 全敏さん (信州大学准教授/日本古代・中世史)
7月11日(土) 13:30~17:00
古代天皇の食卓
平安時代の天皇の食卓が、あるとき劇的に変化することを具体的に考察する。

7月12日(日) 10:00~14:30
古代天皇の食材の集めかた
古代天皇が口にする食材はどのように集められていたのか、そしてそれがどのように変質していくのかを具体的に考察する。

第52講座 講師: 千々和 到さん
5月31日(日) 10:00~14:30
中世の誓約の作法
中世には、戦争を終結するなど何らかの約束をすとき、さらには事件の犯人ではないかと疑わしき者の潔白を証明するようとき、必ず「起請文」という誓約の文書を書いた。

2ページ

歴史研究所の平成21年度事業概要をお知らせします

- 市誌編さん事業
歴史研究所の調査研究活動の成果を集約し、身近な地域の歴史と文化を市民に知ってもらう取り組みを行います。
◆「基礎史料編2」の刊行
◆ジュニアライブラリー「水引・元結と紙すき」(仮題)の刊行
調査研究事業
資(史)料の現状記録調査、歴史的建造物調査、聞き取り調査(オーラルヒストリー)を行うとともに、アーカイブズの収集・保存・活用・公開を行い、地域の歴史・文化を解明していきます。
◆研究成果の公表(刊行物)
◆第7回飯田市地域史研究集会
◆研究発表
◆教育事業
◆地域史講座の開催
◆飯田アカデミアの開催
◆飯田歴史ゼミナールの開催
◆情報紙「歴史ニュース」発行(年6回)

地域史講座 「満州移民」
飯田下伊那からのメッセージ
歴史研究所編『満州移民—飯田下伊那からのメッセージ』を題材にした講座です。4月から6月まで月1回行います。
4月11日(土) 午後1時30分~午後3時30分
5月16日(土) 午後2時~午後4時

企画展示
絵図と史料からみる上飯田の江戸時代
展示期間: 4月25日(土)~4月30日(木)
場所: 飯田市立中央図書館 2階研修室
展示説明会
4月25日(土) 午後1時30分~午後3時

3ページ



歴史研究所を知る-鬼塚さんと出会って-



私が初めて鬼塚さんにお会いしたのは数年前。経営するお店のカウンター越しでした。「地元の人ではないな」と感じたのが第一印象。
近藤サトルさん (APARレルブランド・LAF・オーナー/デザイナー、飯田市語り手)

鬼塚さんの話にもずんずん入る事ができました。今の日本は豊かになりすぎたせいで、人としてあってはならない事件や政治問題が多発しています。話をするうちに、歴史を知って、今、そして未来、を考えなければならないように思えたりもした。グローバルな視点からの日本と飯田下伊那の話はとても刺激的でした。
この飯田下伊那は、3,000メートル級の山脈に囲まれているせいで、良くも悪くも閉鎖的に地元意識が強いように感じます。

リレーエッセイ

退任のごあいさつ 鬼塚 博(研究員)

飯田下伊那のことを調べ始めたのは1991年ごろだったと思います。修士論文のテーマを探するために「長野県史 史料編」をめくっていたら、大正時代の飯田下伊那の青年会の史料が目に入り、当時のこの地域の青年がどのような思いでその文章を書いたのか興味を湧きました。
着任してからは、史料を読むだけでなく、こちらに在住の方々へ聞き取りをさせていただきました。
最後にありますが、このような機会を与えてくださった市民の皆さまに感謝いたします。

歴史ゼミ 4月・5月の予定
実践的に歴史研究の方法を学ぶ講座です。各ゼミでは随時受講生を受け入れています。
時間 午後7時~8時40分(各ゼミ共通)
近世史ゼミ
近世下伊那の民衆生活史
開催日 4月7日・21日/5月19日

4ページ



史料で読む飯田・下伊那の歴史

史料で読む 飯田・下伊那の歴史 1 松尾大森本の家と周辺の社会
一つひとつの古文書を読み、解釈しながら、飯田・下伊那の過去の人々の暮らしを再現するシリーズの書籍です。
今回は、松尾新井森本家(大森本)に残された古文書から、農業のあり方、洪水被害への取り組み、国内政治との関わりなど、家や地域を取り巻く幅広いテーマを取り上げ、松尾とその周辺の社会を考えます。

飯田・下伊那史料叢書 近世史料編 1 飯田町役所用古記録
飯田・下伊那史料叢書は、当地方の歴史を知る上で基礎となる古文書を、活字資料として出版するシリーズです。
今回は、江戸時代飯田町の役人であった人物が、自分の業務に立役ようと、他の町役人の家に残されていた慶長6(1601)年から宝曆9(1759)年ごろまでの役務記録から、町で起こった出来事・訴訟・法令をピックアップして書き留めた「役所用古記録抄帳」を翻刻・出版します。(A5判・520頁・2,800円)

お問い合わせ 飯田市歴史研究所 電話 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173

歴史目録

- 3日 近世史ゼミ「毛賀村の村徒」
4日 現代史ゼミ「江戸から大正までの地域経済の移り変わり」
4・6日 歴史的建造物調査
5日 聞き取り調査(青島清秋氏・下久堅)
7日 飯田アカデミア第47講座「地域史研究の方法」鈴木良さん
10日 建築史ゼミ「景観」
12日 近現代史ゼミ「聞き書き 飯田町の暮らし」編集委員会
12・13日 日本力行会史料調査(東京)
14日 定例研究会「軍教問題対談会記事」を読む清水漁夫
17日 近世史ゼミ「川路村馬商市願書」
17・18日 歴史的建造物調査
18日 現代史ゼミ「地域経済の変化の根柢」
20~22日 旧南信濃村役場文書調査
21日 地域史講座「禅僧たちの戦国時代」織田顕行
25日 歴史的建造物調査
26日 曙の里講座「村絵図からみる飯田と羽場のいまむかし」(上飯田村絵図公開・羽場公民館)近現代史ゼミ「SBCテレビ「残された刻」-満州移民 最後の証言」放映鑑賞
1日 歴史研究助成報告会/「飯田歴史懇話会」の皆さんとの懇談
1~4日 原見一氏所蔵文書調査(東京大学日本史学研究室近世史ゼミ)
3日 近世史ゼミ「旧飯田藩土柳田日記「心覚」より元治元年11月25日」
4日 福祉学文化振興財団研究助成贈呈式出席(東京)
6日 南信州地域文化懇話会出席
7日 建築史学会町並みハイク
7・8日 飯田アカデミア第48講座「飯田の古墳と社会・飯田と「中央」、そして渡来人」土生田純之さん
10日 建築史ゼミ「本棟造」
11日 山下大輔氏所蔵文書調査/歴史的建造物調査
12日 近現代史ゼミ「2008年度ゼミの反省会」
14日 地域史講座「飯田・下伊那の本棟造」金澤雄記
17日 歴史的建造物調査/近世史ゼミ「飯田町の豆腐値上げ」
18日 現代史ゼミ「英語教育の政治性: 地域における展開」
21・22日 座光寺史料調査会(今村八東氏所蔵文書)
25~27日 座光寺小学校史料調査(今村八東氏所蔵文書)
28日 喬木村田富田館見学会/定例研究会「耕作地主の経営分析-松尾村森本家の事例-」田中雅孝

4月・5月の催事スケジュール

Table with columns for months (April, May), dates, and event names. Includes dates for various seminars and exhibitions.

継続調査 松澤卓治氏所蔵文書、菊池謙一氏所蔵文書、後藤信正氏所蔵文書、今村八東氏所蔵文書、森本信文氏所蔵文書、幸原嘉雄氏所蔵文書、岩戸久義氏所蔵文書、本多広文氏所蔵文書、松田初美氏所蔵田中伍市関係史料、上松家所蔵文書、中原清司史料、楯塚氏史料、岡田昭夫氏所蔵文書、南原民センター所蔵文書、中下大輔氏所蔵文書、部奈一朗氏所蔵文書
開所日 9時~午後
休所日 日曜日・月曜日、祝日、12月29日~1月3日
開所時間 午前9時~午後5時